

黒田龍之介先生著「ロシア語だけの青春」ちくま文庫、筑摩書房、2023年6月10日刊を読む

1. 神田外語大学の黒田龍之介先生著、「ロシア語だけの青春」（ちくま文庫）は、英語を勉強する時、とても参考になります。



2. 内容を少しご紹介します。

- (1) 「学生は、一生懸命に発音し、暗唱。ていねいに文字を練習し、まじめに課題をこなす」  
 (2) 「先生は、発音はなるべくていねいに指導し、暗唱させる。単語テストもこまめに行い、学生の理解度を常にチェックしながら、着実に授業を進める。」  
 (3) <期末テストについての心得>  
 「最後のテストに向け、学習した内容をよく復習してください。これまでいくら熱心に出席して、単語テストをこなしても、最終的に実力がついていなければ、何にもなりませんからね」

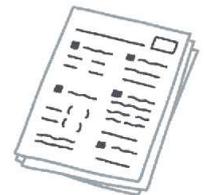
3. (1) ①「発音の練習」をし、  
 ②「暗唱」。  
 ③「文字をていねいに学ぶ」（書き取り練習）。  
 ④「まじめに課題をこなす」（問題練習などを行う）」。



この3つが、語学学習には、大切であることを、教えて下さっています。

- (2) この「ロシア語だけの青春」で、黒田先生から学んだのは、「発音練習」「発音練習」「発音練習」！！「暗唱」「暗唱」「暗唱」！！「書き取り」「書き取り」「書き取り」！！  
 (3) つまり、「発音練習」の大切さ。「暗唱」の大切さ。「書き取り」の大切さです。

4. (1) 日本人が、何年間英語を学んでも、テストで点が取れ、英検に合格しても、第一希望の学校に入学しても、英語が話せない、英語で書き表すことができないことです。



- (2) その最大の理由は、一度学んだ英語の、「発音練習」「暗唱」「書き取り」を、ほとんど行っていないためだと思われます。  
 (3) これからは、英語の学び方の中に、一度学んだ英語の「復習」として、「発音練習」「暗唱」「書き取り」の「3つ」を入れてみませんか。  
 ○きっと、英語を「発音する力」「話す力」「書く力」が、グーンとアップすると思います。

5. (1) 開倫塾では、「予習」「授業」「復習」をしっかり行い、「深い理解」を目指すことをおすすめしています。  
 (2) 「深い理解」とは、「学んだことを自分のことばでいえる（表現・説明できる）こと」と考えます。  
 (3) これは英語にも当てはまります。

6. (1) 英語でも「深い理解」をめざしましょう。

(2) <英語での「深い理解」とは、「学んだことを自分のことば（自分の英語）で、いえる（表現・説明できる）こと」と考えます。

(3) これからは、英語を学ぶときには、「発音練習」「暗唱」「書き取り」をしっ  
かりいたしましょう。



7. (1) 開倫塾の講習会テキスト、特訓テキスト、通常授業テキスト、学校  
教科書をを徹底的に学びましょう。

(2) 学ぶときには、英語はもちろん、すべての教科で、「発音練習（音読  
練習）」「暗唱」「書き取り」「計算・問題練習」を、テキスト・教科書を  
用いて行いましょう、

(3) そして、「予習」「授業」「復習」で、「深い理解」「学んだことを自分のことばでいい表  
す（表現・説明できる）こと」を目指しましょう。



2025年1月30日（木）